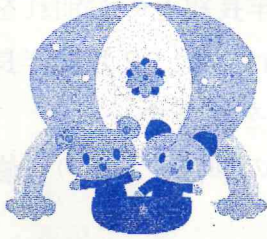


令和元年度 園だより

こうきた 3月号

杉並区立高円寺北子供園



ありがとう 杉並第四小学校

園長 高橋 章子

先日の2月15日、杉並第四小学校の閉校式が挙行されました。区長・教育長をはじめ、教育委員会、PTAや同窓会等の皆様と一緒に参列しました。

校長式辞では、参列していた六年生に向けて、「平成17年度から併設園として共に過ごしてきた高円寺北子供園との交流は、君たちのこれからの生活に必ず生かされていきます。これまでの交流を大切な思い出にしてください。」と、お話しいただきました。

高円寺北幼稚園時代から数えて、併設園校としては15年間の生活でした。独立園舎からの引っ越しは、「小学校の中に入るとどのような生活になるのか?」と保護者の皆様から、多くの不安な声が聞かれました。当時、担任として高円寺北幼稚園で勤務していた私も、少なからず不安な思いがありました。園庭で遊んでいるときに、小学生が走ってきてぶつかったら、園児は跳んでいってしまうのではないかと、「授業中は静かに!」と注意されるのでは?など、あれこれと考えてしまいました。

でも、実際に生活が始まってみると、どれも杞憂にすぎませんでした。小学生は、当たり前のように、目の前にいる子どもたちに対して優しく接し、声を掛けてきます。“困ったことがあれば、誰かしら助けてくれる。”“突然のことでもその場で関わり方を考える。”生活の中に、人との関わり方の大切な意味をしっかりと学び合う子どもたちの姿がありました。

自分の周りには、様々な人が共に生活を営んでいる。良きにせよ悪きにせよ、自分の周りにはたくさんの方がいて、自分の思うようにいかないことも時にはある。多くの人の中で生活することはそういうこと。でも、自分がとても価値あるものとしてきらめくときがある。自分の存在は意味のあるものなのだ。ということ、小学生にとっても子供園の幼児にとっても感じられる瞬間があちらこちらにありました。

来年、子供園は独立し、また新たな生活が始まります。

どのような環境になっても、学びは必ずあります。そのチャンスを見つけるのは、私たち職員と子どもたちです。これからも、園での新たな環境を生かし、子どもたちの遊びや活動を充実したものにしていきます。これまでの、杉並第四小学校との連携教育を土台に新たに出発します。

高橋浩平校長先生をはじめとし、杉並第四小学校教職員の皆さまにはこれまでの連携に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度も、最後の一か月となりました。保護者の皆さまには、子供園へのご理解とご協力に感謝申し上げます。PTA活動へのご協力においても、子どもたちのためにたくさんのお力を注いでいただきました。

本当にありがとうございました。

